

◆パッケージ構成

	ワークシート	趣 旨 ・ 内 容
①	My English Portfolio 	この「My English Portfolio」シートには、左側に本パッケージの「学習到達目標」とシンプルな「自己評価欄(ネコのイラスト)」、右側に「振り返り」と「今後の目標」を記入する欄があります。 学習開始前に、「学習到達目標」にざっと目を通し、これから自分は「英語でどのようなことができるようになるのかな」というイメージをもつことが大切です。そのために、各目標は「～できる」というCAN-DOリスト形式で記されています。はじめに「自分の目指す姿」をイメージし、それに向けて学びを進め、到達状況によって学びを調整する。これが「自律的な学習者」の姿です。
②	配信動画リスト 小・中・高「外国語」授業動画 配信プロジェクト 1. 動画別「学習到達目標」を「主な学習内容」 	「英語情報 web」にある授業動画について、以下2つの観点からリストとして整理しています。 1. 動画別「学習到達目標」と「主な学習内容」 2. コンテンツ一覧(各動画の「指導の流れ」) 児童生徒は学習前後に、授業構成や主な学習内容を文字で確認することができます。また先生方には、児童生徒の学習内容の把握、および学校再開後に関連する言語活動を授業に取り入れるためにご参照いただけるようになっています。
③	学習チャレンジ記録 小・中・高「外国語」授業動画 配信プロジェクト 【中学1年生用】学習チャレンジ記録 	実際に児童生徒が学習を行うために重要なシートと言えるもので、大まかな学習内容を Step ごとにまとめた学習カリキュラムです。「中学1年生用」、「小学6年生用」、「小学5年生用」の「学習チャレンジ記録」となっていますが、英語学習経験によって使用するシートを適宜ご選択ください。 教材のユニットごとに付された「動画 No」順に学習を行い、「学習日」と簡単な選択式の「振り返り」を記録することで、動機づけの維持を目指しています。一通り動画を視聴した後も、振り返りを通して「もう一度確認したい」と思う内容について、「動画 No」を参照して何度も取り組むことができます。
④	復習ワークシート 	一通り学習を終えたら、この「復習ワークシート」で学習到達目標の達成状況を確認します。「すごろく」形式になっており、自分の力でこなせたマスには「✓」を入れます。これが児童生徒の達成感を刺激します! 本ワークシートは自宅学習用という性格上、児童生徒が「一方向で話す」ことが中心となっています。ですので、学校が再開されたら、ぜひ教室で、児童生徒によるペアワークの形で改めて行っていただきたいと思います。休校期間中に動画授業で一度は学習を経験した内容ですので、自信をもって「外国語」の授業に参加できる。こうした児童生徒の姿を期待しています。
⑤	My English Portfolio 	「復習ワークシート」を終えたらすぐに、この「My English Portfolio」に戻り、振り返り活動を行います。 1. 学習到達目標を1つずつ再確認し、今どれだけ「自分の力でできるか」を記録 2. 「振り返り」と「学校が再開されたら、英語でどのようなことを頑張りたいか」を記入 児童生徒のシートを回収し、自己評価の高い項目と低い項目を効果的に取り入れながら、対面での「外国語」授業を行っていくことができます。

Back to School チャレンジ!

Back to School チャレンジ! 【チャレンジ】コース



◆ミッション

学校が帰ったら、クラスの友だちに英語で自己紹介をしよう。
次の5つの課題に挑戦して、どのようになれるか、どのように頑張るか考えてみよう。
My English Portfolio を参考に、「英語でどのようなことができるようになったか」を振り返りながら進めよう。

1. あいさつを覚えて、5つ以上ので覚えておこう！【文の数】
2. クラスのみんなが、あなたの自己紹介をしっかりと聞き取れるように話そう。【話し方】
3. クラスの友だちに自分やサウザン（地名）を話そう。【自己紹介】
4. 自分の名前、クラスの友だちの名前を話そう。【名前】
5. 単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話そう。【単語の活用】

【自己紹介を練習する際に活用しよう！】

下の表（ルーブリック）は、上の1～5の課題について、「どのようなことができるか」という観点から評価します。
「B」が「頑張った」、「C」が「もう少し頑張ろう」、「A」が「もっと頑張ろう」というように評価します。
まず、すべての課題で「B」をクリアできるように頑張ろう。自分の得意な課題は「A」を目指してみよう。

1. 文の数	2. 話し方	3. 自己紹介	4. 単語	5. 英語の活用
A あいさつを覚えて、5つ以上の文を書ける。	相手に話しかけるように、声の大きさや速さ、適切な間を空けて話している。	相手に話しかけるように、名前やサウザン（地名）を話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。
B あいさつを覚えて、3つ以上の文を書ける。	相手に話しかけるように、声の大きさや速さ、適切な間を空けて話している。	相手に話しかけるように、名前やサウザン（地名）を話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。
C あいさつを覚えて、1つ以上の文を書ける。	相手に話しかけるように、声の大きさや速さ、適切な間を空けて話している。	相手に話しかけるように、名前やサウザン（地名）を話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。	単語を覚えて、文の形で、クラスの友だちに話している。

さあ、どんな自己紹介をしようか？ レポートを、学校で帰るまで（家に帰るまで）に練習して頑張ろう！

My English Portfolio

本パッケージでは、これからの「外国語教育の方向性」を見据えながら、その特色を取り入れた「Back to School チャレンジ」ワークシートを準備しています。「話すこと（発表）」の領域におけるパフォーマンス課題（ミッション）です。児童生徒が学校再開までの期間に取り組み、授業が始まったらクラスみんなの前で発表できるように準備します。

小学5年生は「自己紹介」を指定された項目を網羅しながら行います。さらに小学6年生、中学1年生には、同じ「自己紹介」でも「クラスのみんなに自分のことをよく覚えてもらえるように」という「目的・場面・状況」を設定し、「思考・判断・表現」の観点から（自己）評価が行えるようにしました。中学1年生にはもう一つ「中学校でやってみたいこと」と「楽しい行事」についてのスピーチ課題もあります。

ワークシートにはルーブリックを載せ、この課題を通して目指す姿を具体的にイメージしながら準備できるようにしています。ただこのルーブリック、「B」が「合格」、「A」が「十分に目標達成」ですが、「C」はマイナスな表現を避け、「もっと頑張ってみよう」という気持ちを損なわないようにした独自版です。学校再開後の最初の英語授業は、ぜひこのワークシートを用いて児童生徒が準備した「自己紹介」を取り入れ、先生方が実際にルーブリックを用いて、一人一人の頑張りを評価してあげてください！